制 吐 剤

名称　　中等度催吐性

1クール　　7日間

Rp	処方	DOSE	1	2	3	4	5	6	7
1	点滴静注　　主 ルート								
	グラニセトロン点滴静注バッグ1mg/50mL	1本 /body	●						
	デキサート注射液6.6mg/2mL	1本 /body	●						
	デキサート注射液1.65mg/0.5mL	2本 /body	●						
	時間　　30分								
2	経口								
	デカドロン錠	8mg /body		●	●	●			
	分2 朝昼食後								
	day4の内服は状況に応じて投与の可否を決める								

【投与時の注意】

・オキサリプラチン、イホマイド、イリノテカン、メトトレキサートなどの使用時にはイメンドカプセルをオプションとして使用できる。

・day1のデキサート注は、6.6mgでもよい。

・day2～4のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる。

・デキサメタゾンを積極的に利用できない場合は、デキサメタゾン2～4日間の代わりに5-HT3受容体拮抗薬2～4日間を追加する。

・このレジメンはday1にのみ中等度催吐性抗がん剤を投与する場合の使用例であり、患者個々の状態や適用レジメンに応じて適切に変更して使用すること

≪中等度催吐性リスクの抗がん剤≫　催吐頻度30～90%

・カルボプラチンAUC4未満

・非カルボプラチン

コスメゲン　ビダーザ　カルセド　イダマイシン　ベスポンサ　イホマイド＜2g/㎡/回　イリノテカン　サンラビン　エピルビシン＜90mg/㎡　オキサリプラチン　トリセノックス　エンドキサン＜1500mg/㎡　シタラビン＞200mg/㎡　ダウノマイシン　ドキソルビシン＜60mg/㎡　ヨンデリス　アクプラ　ピノルビン　トレアキシン　ミリプラ　メソトレキセート≧250mg/㎡　アルケラン

参考：制吐薬適正使用ガイドライン 2015年10月【第2版】一部改訂版(ver2.2)